

社 会

Ⅰ ゆりこさんのクラスでは、「産業や暮らしの変化から、持続可能な社会のすがたを考えよう」というテーマで、これまで学んできた社会科の学習をふりかえることにしました。A班～D班の発表内容を読んで、あとの各問いに答えなさい。

A班	今から75年前に第二次世界大戦が終わり、日本では国が工業をさかんにしようと取り組んだこともあって、全国に多くの工場が建設されるようになりました。1960年ごろからは経済がめざましく発展し、わたしたちの暮らしは便利になった反面、そのことによって公害が発生し、環境がはかいされ、人の健康や命をおびやかすことになりました。今の便利な生活をやめて、不便な生活にもどすことは、だれにとってもむずかしいことでもあり、現在、工場では、人や環境に配慮しながら、工業製品をつくる取り組みをしています。
B班	日本では、毎年のようにさまざまな自然災害が起きています。2011年3月11日には、三陸沖を震源とする大地震が発生し、それにともなう大津波によって、東北地方を中心として東日本の太平洋沿岸が大きな被害を受けました。また、気候との関係をもても、台風による大雨や暴風、土砂崩れ、川のはらんなど、人々の命や財産に対して、大きな影響をおよぼす災害が起きています。このため、現在、全国の各市町村では、自然災害による被害を予測して表した地図をつくり、住民に注意をよびかけています。また、自然災害が多い地域では、過去にあった自然災害を伝える記念碑が建てられており、「災害は忘れたころにやってくるから気をつけなさい」という先人の思いを、地域の人々みんなて語り継いでいます。
C班	日本全体での米の生産量は、米の消費量とともに下がり続けています。現在では、農業以外に仕事をもつ兼業化が進み、農業を継ぐ若い人が少ないこともあって、高齢化も進んでいます。米の消費量を増やす試みとしては、米の粉でつくったパンや、米をとがずにたける無洗米などを売り出す取り組みが進められています。また、少しでも収入を増やすために、同じ地域の農家と生産組合をつくる取り組みも見られます。
D班	現在、わたしたちの食生活には、輸入された食料が欠かせなくなっています。国内で消費された食料の量に対して、国内で生産された食料の量をわりあいであらわした「食料自給率」は低くなっています。一方で、消費者の食の安全・安心への関心は高まっており、食料生産と環境のかかわりについて考え、行動することが大切です。なお、輸入先の国で天候不順や突然の災害などが起きて農産物の収穫量が大きく減ったり、外国との関係が悪くなったりした場合、農産物などが輸入できなくなる可能性もあります。

(1) A班の 部の「公害」について、次のように説明される公害が発生した地域はどこですか。下のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

石油化学工場から空気中に出されたガスが原因で、息をするのが苦しく、のどがいたみ、はげしいぜんそくの発作がおこった。このため、工場から排出されるいおう酸化物の量をきびしく規制した。

- ア. 八代海沿岸域 (熊本県・鹿児島県)
- イ. 四日市市 (三重県)
- ウ. 神通川下流域 (富山県)
- エ. 阿賀野川下流域 (新潟県)

(2) A班の 部の「人や環境に配慮」した自動車の開発や製造における取り組みについて述べた次の文のうち、まちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 電気自動車はガソリンを使用しないため、走行時に二酸化炭素などを排出せず、地球の環境にやさしい。
- イ. 資源を大切に使うために、古いものを再利用して新しい部品をつくるなど、リサイクルしやすい自動車が開発されている。
- ウ. 自動車工場では、ロボットだけにたよらず人を多くし、一つのラインで同じ種類の自動車だけが大量生産されている。
- エ. 前方の自動車とのしょうとつを防ぐために自動でブレーキがかかるなど、交通事故を防ぐためのくふうがしてある自動車が開発されている。
- オ. 朝からと夕方からの勤務を交替で行い、真夜中の仕事を少なくしたり、同じ作業の繰り返してミスやけがが起こることを防ぐため、受けもつ作業を入れかえたりするなど、くふうをしている工場もある。

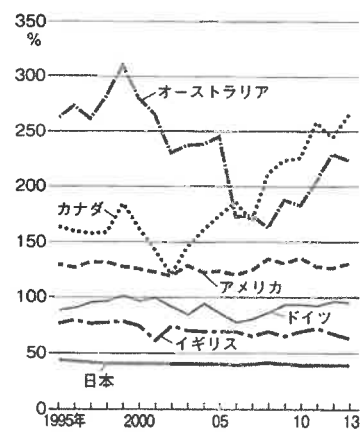
(3) B班の 部の「自然災害による被害を予測して表した地図」は、色や記号を使い分け、避難場所などもわかりやすく表しています。この地図のことを何マップといいますか。カタカナ4字で答えなさい。

(4) C班の 部について、この取り組みによって農家の収入が増えることにつながる理由を、「機械」「生産にかかる費用」という2つの言葉を用いて20字以上40字以内の文章で説明しなさい。

社 会

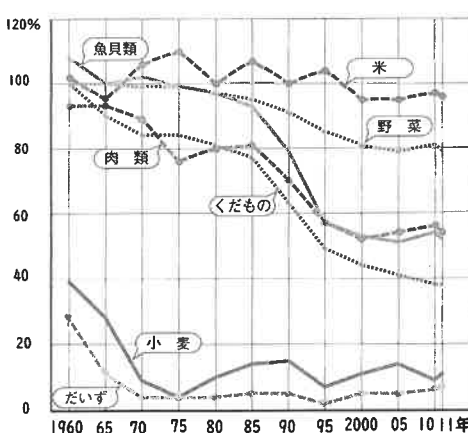
- (5) D班の 部「食料自給率」について述べた次の文のうち、まちがっているものを、下の6つの資料を参考にしながら1つ選び、記号で答えなさい。
- ア. アメリカやオーストラリアなどでは、日本と比べて、農林業などの従事者1人あたりの耕地面積がはるかに大きいので、大型機械を使って、少ない人手で大量の農産物を安く生産することができる。
- イ. 日本は消費する小麦の多くを輸入にたよっており、2017年のとれ高と輸入高の合計にしめる輸入高のわりあいは8割をこえている。
- ウ. 日本の食料自給率は、他の国よりも低く、近年、魚貝類以外の食料は国内でほとんどまかなえていない。
- エ. 農業・林業・水産業で働く人のわりあいが減っていることや、耕地面積が減少していることも、日本の食料自給率が低くなっている理由の一つと考えられる。

資料Ⅰ おもな国の食料自給率の変化



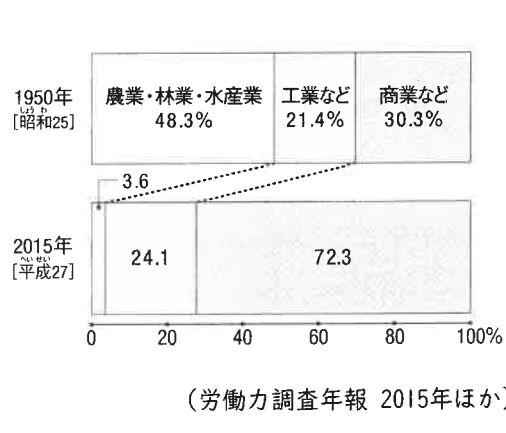
(農林水産省調べ 『日本のすがた2019』)

資料Ⅱ 日本のおもな食料の自給率の変化



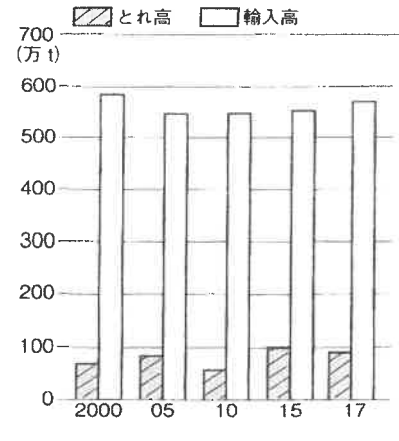
(2013年刊 食料需給表)

資料Ⅲ 産業別の人口のわりあいの変化



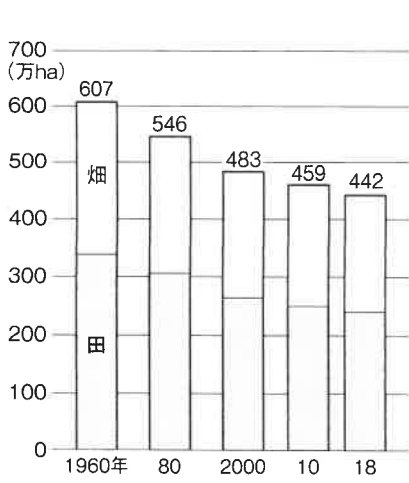
(労働力調査年報 2015年ほか)

資料Ⅳ 日本の小麦のとれ高と輸入高の変化



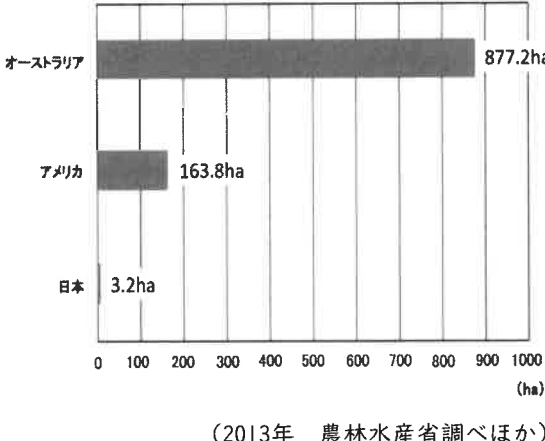
(農林水産省および財務省調べ 『日本のすがた2019』)

資料Ⅴ 日本の耕地面積の変化



(農林水産省調べ 『日本のすがた2019』)

資料Ⅵ おもな国の農林業などの従事者1人あたりの耕地面積



(2013年 農林水産省調べほか)

- (6) D班の 部「食の安全・安心への関心は高まっており、食料生産と環境のかかわりについて考え、行動することが大切」について述べた次の文のうち、まちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。
- ア. 水田は、雨水を受けとめて水をたくわえ、棚田は、こう水や土砂くずれを防ぐ働きもあるので、水田や棚田で食料を生産することは、環境保全に役立っている。
- イ. 食品がいつ、どこで、どのように生産され、どのような経路で店にならんだのかを追せきできるトレーサビリティのしくみが整えられてきている。
- ウ. 品質のよい食料を生産するためには、水や土などがよい環境であることが必要で、農業・林業・水産業で働いている人たちがいっしょに植林活動を行っている地域もある。
- エ. 日本ではすべての農家が農業を使わない米づくりに取り組んでおり、水の管理をしっかり行ったり、かもを水田に放したりして、雑草や害虫を自然なかたちで取りのぞいている。

社 会

2 太郎さんのクラスでは、日本の社会のうつり変わりや暮らしの様子について、調べ学習を行いました。次のA～Eは、図書館や博物館で見つけた文献や資料をもとに、学習内容をまとめたものです。これを読んで、あとの各問いに答えなさい。

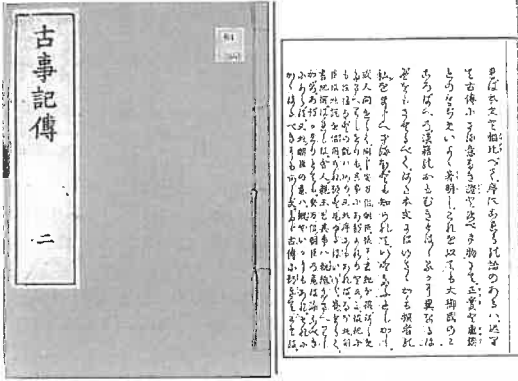
A	8世紀、都としてさかえた平城京 ^{へいじょうきやう} には、10万人の人々が暮らしていたと考えられています。都の人々の暮らしは、全国各地から税として集められたもので支えられていたことが、見つかった木簡 ^{もっかん} から知ることができます。
B	平安京 ^{へいあんきやう} では、有力な貴族が勢力を争い、そのなかで天皇とのつながりを深めた藤原氏 ^{ふじわら} が、力をのばしていきました。藤原道長 ^{ふじわらのみちなが} は、「この世をば わが世ぞと思う もち月の 欠けたることも なしと思えば」という歌をよんでいます。また、9世紀の終わりには遣唐使 ^{けんとうし} が取りやめになり、日本風の文化 ^{ふにふうのぶんか} が栄えるようになりました。
C	武士は一族のかしらを中心に武士団をつくりました。特に勢いが強かったのは源氏 ^{げんじ} と平氏 ^{へいし} で、源氏は東国 ^{とうごく} (東日本)に、平氏は西国 ^{さいごく} (西日本)に勢力を伸ばしました。12世紀の中ごろからは、武士の政治への関わりが大きくなり、源頼朝 ^{みなもとのよりとも} は鎌倉 ^{かまくら} (神奈川県)に幕府を開きました。
D	16世紀の後半、日本は戦乱から天下統一 ^{てんかとういつ} へと向かいました。豊臣秀吉 ^{とよとみひでよし} は百姓 ^{ひやくしやう} に土地を耕す権利を認めるかわりに年貢 ^{ねんぐ} を納めさせ、刀狩 ^{かたな が} りによって百姓が持つ刀や鉄砲 ^{てつぽう} などを取り上げ、農業に専念させようとしてしました。また、武士が百姓や町人になることや、百姓が武士や町人になることを禁止し、武士と町人は城下町に、百姓は村にと、住む場所を分けました。
E	「将軍のおひざもと」といわれた江戸 ^{えど} は、18世紀になると、人口が100万人をこえる大都市となりました。町人 ^{おひざもと} にかけられる税は百姓に比べて軽く、経済力では大名をしのぐ大商人もあらわれました。また、同じころの大阪は、「天下の台所 ^{おひざもと} 」とよばれています。

- (1) Aの文中の「平城京」が都としてさかえた8世紀ごろの説明として、まちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。
- ア. 遣唐使や留学生らが命がけて海をわたり、中国の皇帝^{こうてい}中心の政治のしくみや文化、大陸の文物が日本へもたらされた。
- イ. 天皇は、東大寺の大仏^{とうだいじ}づくりに必要な、大量の金属や木材などの物資と、作業にあたる大勢の農民を全国から集めるとともに、高度な技術をもつ朝鮮^{ちやうせん}からの渡来^{とらい}人の子孫を、工事の責任者に任命した。
- ウ. 各地の農民たちは、税として稲や地方の特産物を納める他にも、遠くはなれた都の工事で働いたり、兵士として九州の守りについたりしていた。
- エ. 近畿^{きんき}地方には大きな前方後円墳^{ふん}がたくさんつくられ、設計や土木工事、金属加工などには、高度な技術をもった渡来人が、重要な役割を果たした。
- (2) Bの 部の「日本風の文化」の説明として、まちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。
- ア. 貴族の暮らしの様子や日本の風景などを描いたあざやかな大和絵^{やまと}が生まれた。
- イ. 漢字をもとにしたかな文字が作られ、紫式部^{むらさきしきぶ}は『源氏物語^{げんじものがたり}』を書いた。
- ウ. 障子^{しょうじ}やふすまで仕切られた、書院造^{しやういんづくり}とよばれる現在の和室のもととなった建築様式が広まった。
- エ. 束帯^{そくたい}といわれる男性の服装や、十二単^{じふにひとえ}とよばれる女性の服装が着用されるようになった。
- (3) Cの文を読んで、武士の政治への関わりについて述べた次のア～エを、年代順に並べかえ、記号で答えなさい。
- ア. 武士の裁判の基準となる法律^{こせいはいしきもく}(御成敗式目^{ごせいばいしきもく})がつくられ、北条氏^{ほうじやう}を中心とした鎌倉幕府の支配力はいっそう強くなった。
- イ. 元の大軍が2度にわたり九州北部におしよせてきて、御家人^{ごけにん}たちは、元軍の集団戦法や火薬兵器に苦しみながらも、激しく戦った。
- ウ. 源頼朝^{げん りょう}は、鎌倉(神奈川県)で武士による政治のしくみを整えた。また、朝廷^{てうてい}にせまり、御家人^{しゅご}を守護や地頭^{じとう}につけ、地方にも力がおよぶようにした。
- エ. 平清盛^{たいらのきよもり}は武士としてはじめて太政大臣^{だいじやうだいじん}になり、中国(宋^{そう})との貿易を進めるために、兵庫の港^{ひやうご}(神戸市^{こうべ})を整えるなど、積極的な政治をおこなった。

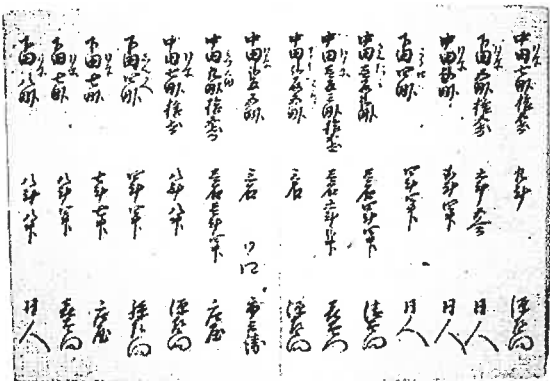
社 会

(4) Dの文と関係の深い資料はどれですか。次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

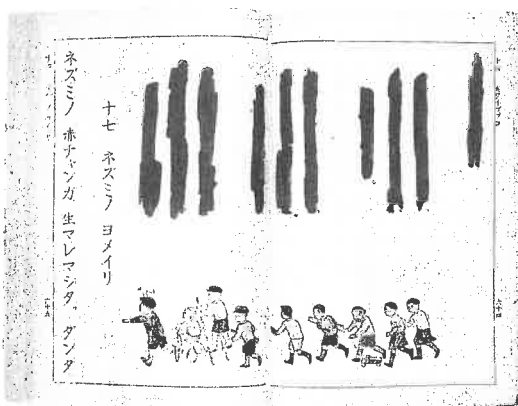
ア.



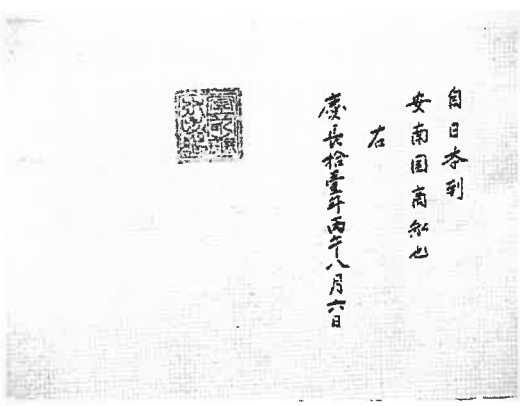
イ.



ウ.



エ.



(5) 右の絵は、Eの 部「天下の台所」とよばれた当時の大阪の様子を描いたものです。「天下の台所」とよばれた理由を、25字以上50字以内の文章で説明しなさい。



3 次のよしこさんと先生とたかしさんの会話文を読んで、あとの各問いに答えなさい。

よしこ：昨日テレビを見ていたら、戦争遺跡の話をしていただけと、奈良にもそうした遺跡はあるのかな。

先生：奈良教育大学の敷地内にある教育資料館は、太平洋戦争のころの陸軍の倉庫だったんだよ。

たかし：日本が、外国と戦ったのですね。太平洋戦争より前から日本は外国と戦っていたのかな。

先生：日本は、①日清戦争や日露戦争で朝鮮半島や中国に勢力を伸ばしていったんだ。昭和時代になると、景気がわるくなり、満州を日本のものにすれば不景気から抜け出せると考える人が現れたんだ。

よしこ：それで満州事変が起きたのですね。

先生：そのとおり。②満州事変がきっかけで満州国がつくられたんだよ。さらに1937年には、ペキン近くで日本軍と中国軍のしょうとつがおこり、これがきっかけとなって中国との全面戦争がはじまったんだ。中国はアメリカやイギリスなどの援助を受けて抵抗を続けたため、日本は100万人もの兵力を送ったんだよ。

たかし：イギリスやアメリカとも対立が激しくなったのかな。

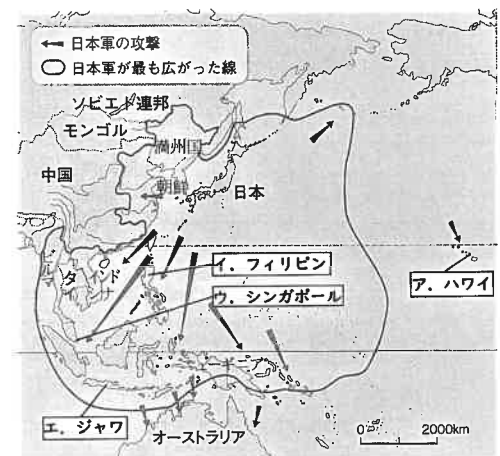
先生：そうだね。1941年12月8日に日本はイギリス領のマレー半島に上陸し、ほぼ同時に③アメリカ軍の基地を攻撃して、太平洋戦争が始まったんだよ。

よしこ：中国と戦争しながらアメリカやイギリスとも戦うなんて、人々の暮らしはどうなったのかな。

先生：④人々の暮らしは、すべて戦争のために制限されたんだ。また、1944年以降はアメリカ軍の飛行機が日本の都市に爆弾を落として、多くの都市が焼け野原となり人々の生命がうばわれたんだよ。

社 会

- (1)文中線部①について、日清戦争や日露戦争のころの様子について述べた次の文のうち、まちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。
- ア. 日清戦争で勝利した日本は、小村寿太郎を欧米に派遣し、関税自主権を回復した。関税自主権を回復した日本は、国力をつけ、日露戦争に備えた。
- イ. 日露戦争での日本の勝利は、欧米の支配に苦しむアジアの国々を勇気づけたが、戦争費用の負担などで苦しんだ日本国民の間には不満が残った。
- ウ. 日露戦争では多くのぎせい者をだしながらも勝ち進み、東郷平八郎率いる艦隊がロシアの艦隊を破るなどして戦争に勝ち、韓国(朝鮮)を日本の勢力のもとに置くことをロシアに認めさせた。
- エ. ロシアは日本の動きを警戒し、ドイツやフランスとともにリヤオトン半島を清に返すように要求し、日本はリヤオトン半島を清に返した。
- (2)文中線部②について、このできごとに関する説明として正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。
- ア. この日本の動きは、世界各国に受け入れられ、国際連盟でも日本の行動が承認された。
- イ. 日本は満州事変の翌年、満州をソビエト連邦の領土から切り離し、満州国として独立させた。
- ウ. 満州国には、農業などを営むために多くの日本人が移り住んだ。
- エ. 満州国が独立すると、日本の人々の民主主義への意識が高まり、普通選挙を求める運動が広く展開された。
- (3)文中線部③について、このとき日本軍が攻撃した場所を右の図中のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- (4)文中線部④について、当時の人々の生活の様子としてまちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。
- ア. 国の予算のほとんどが軍事費に使われるようになり、生産も軍事物資が優先された。
- イ. 隣組がつくられ、住民どうしがたがいに監視するしくみが強められた。
- ウ. 国の命令によって、女子生徒なども軍需工場などの働き手として動員された。
- エ. 戦争が始まり、天皇がラジオ放送で国民生活を制限すると宣言し、国民の生活が苦しくなった。



- ④ 次の日本国憲法前文に示された平和への誓い(要旨)を読んで、あとの各問いに答えなさい。

わたしたちは、世界がいつまでも平和であることを、心から願います。わたしたちは、平和と正義を愛する世界の人々の心を信頼して、平和を守っていきたいと思います。

わたしたちは、A 平和を守り、平等で明るい生活を築こうと努力している国際社会のなかで、名誉ある国民になることをちかいます。わたしたちは、全世界の人々が、みな平等に、恐怖や欠乏もなく、B 平和な状態で生きていくことができる権利をもっていることを、確認します。

どんな国であろうと、自分の利益と幸福だけを考えて、他国のことを忘れるようなことがあってはなりません。

- (1)文章中の下線部Aのような国際社会の実現のために、1945年に国際連合が生まれました。国際連合には、紛争や内戦に巻き込まれて命を落したり、家族を失ったり困難な状況にある右の写真のような子どもたち(難民)を守るために中心になって活動している機関があります。次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア. 安全保障理事会
- イ. 国連総会
- ウ. ユニセフ(国連児童基金)
- エ. ユネスコ(国連教育科学文化機関)



- (2)文章中の下線部Bのような権利を保障する取り組みとして、1989年に国際連合は、「世界のすべての子どもは、生きる権利や育つ権利、教育を受ける権利や、意見を自由に言う権利、戦争から保護される権利などを平等にもっている」と、国連総会で条約を採択しました。日本も、1994年に国として確認、同意しました。この条約の名前を答えなさい。
- (3)「平和主義」と並んで、日本国憲法の三原則の一つである「基本的人権の尊重」について述べた次の文のうち、まちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。
- ア. 基本的人権として、すべての国民が健康で文化的な最低限度の生活を送る権利が保障されている。
- イ. 基本的人権として、すべての国民が生まれながらにして自由で平等であることや、幸せに暮らす権利が保障されている。
- ウ. 基本的人権には、国民としての役割を果たすことを優先し、個人よりも国と地方の政治を尊重する義務が含まれている。
- エ. 基本的人権には、プライバシーの権利や、暮らしやすい環境のもとで生活する環境権、農産物や医薬品の安全性などについて知る権利なども含まれている。

受検 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

得 点	
--------	--

1

(1)

(2)

(3)

マップ

(4)

(5)

(6)

2

(1)

(2)

(3)

→ → →

(4)

(5)

3

(1)

(2)

(3)

(4)

4

(1)

(2)

(3)